

2014年6月号

6月15日(日)発行

釧路湿原国立公園

温根内ビジターセンター

月刊 温根内通信 No. 213



猛暑から一転…

北海道各地で猛暑日を記録した6月初旬。涼しいはずの温根内でも29℃を記録しました。このまま夏に突入と思われましたが、その後は1週間以上も太陽が顔を出してくれない肌寒い日々が続き、本州の梅雨を思わせます。天気に一喜一憂する毎日ですが、湿原のいきものたちはそんなことに文句も言わず、子孫を遺すための営みを始めています。

☆☆☆温根内ビジターセンター 探勝木道周辺の自然情報☆☆☆



～温根内探勝木道周辺の植物～



【ミツガシワ】
ミツガシワ科 三柏
この花を求めて温根内を訪れる方も多いようです。よく探すと、とても上品な薄紅色の株も確認できます。ヨシ・スゲ湿原で見られます。



【ハナタネツケバナ】
アブラナ科 花種漬花
氷河期の遺存種と言われる植物で、北海道東部でもごく一部の湿原でしか見られません。ここではヨシ・スゲ湿原で見られます。



【ヒメカイウ】
サトイモ科 姫海芋
ハンノキ林内でよく見られます。葉の形と大きさ、白い仏炎苞が特徴で、ミズハショウよりも小さく、秋になると赤い実を付けます。



【イソツツジ】
ツツジ科 磯躑躅
直径1cm程の花を咲かせる高山植物で、ミズゴケ湿原で見られます。海拔10m以下でも見られるのは、冷涼な釧路湿原ならではのです。



【コツマトリソウ】
サクラナゲ科 小襖(端)取草
ミズゴケ湿原やハンノキの根元で小さな白い花をたくさん咲かせています。湿原で見られるものは花が小さく、葉の先が丸いのが特徴です。



【エソノタチツボスミレ】
スミレ科 蝦夷立壺萼
鶴居軌道跡の薄暗い場所で咲いています。高さが30cm程で、温根内周辺は白花です。足元をよく見ていないと見過ごしてしまいます。

○表紙の写真 上：やちぼうず 中右：ヨソボシトンボ 中左：ミツガシワ(薄紅色) 下：ワタスゲ(実)

～温根内探勝木道周辺の野鳥～

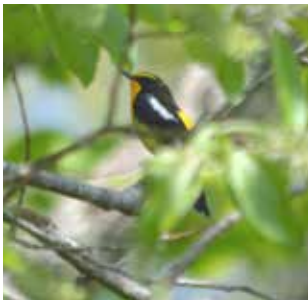
木々の葉が広がり、鳥を見つけるには難しい季節になってきましたが、さえずりはまだまだ盛んに聞こえているので、よく探せば見つけられるはずです。ビジターセンターで双眼鏡を無料で貸し出ししているため、お気軽にご利用ください。



【ノビタキ (オス)】
ヒタキ科 野鶺 夏鳥
ヨシ・スゲ湿原の枯れヨシや
ハンノキの枝先でやさしい
声でさえずっています。黒い
頭と喉から胸にかけてのオ
レンジ色が特徴です。



【アオジ (メス)】
ホオジロ科 青鶺 夏鳥
ハンノキ林内とヨシ・スゲ
湿原で見られます。オスと
比べて顔が黄色っぽく、目
の周りも黒くありません。
ただいま子育て中です。



【キビタキ (オス)】
ヒタキ科 黄鶺 夏鳥
ビジターセンター周辺の森
や鶴居軌道跡の沢付近で見
られます。黒と黄色の美し
い姿とよく通るさえずりで
訪れる人を楽しませます。



【アカハラ】
ヒタキ科 赤腹 夏鳥
ビジターセンター周辺の森
の中で、どこか寂しげに
「キョロン、キョロン、ツイ
〜」とさえずっています。
朝と夕によく見られます。

○温根内探勝木道周辺で観察された花 (5月15日～6月14日) ※和名は五十音順

■エゾエンゴサク ■エゾオオサクラソウ ■エゾカラマツ ■エゾニトコ ■エゾネコノメソウ ■エゾノクサイチゴ ■エ
ゾノコリンゴ (木本) ■エゾノタチツボスミレ ■エゾヤマザクラ (木本) ■エンコウソウ ■オオアマドコロ ■オオカ
サスゲ ■オオツリバナ (木本) ■オオバタネツケバナ ■オオバナノエンレイソウ ■オオヤマフスマ ■カキツバタ ■カ
タバミ ■カブスゲ ■キジムシロ ■クリイロスゲ ■クロミノウグイスカグラ (木本) ■コケイラン ■コタヌキモ ■コツ
マトリソウ ■コンロンソウ ■サギスゲ (花・綿毛) ■サワシバ (木本) ■シコタンキンボウゲ ■シロツメクサ ■セイ
ヨウタンポポ ■タチツボスミレ ■チシマネコノメソウ ■ツボスミレ ■ツルスゲ ■ナガバツメクサ ■ナナカマド (木
本) ■ネコノメソウ ■ノハラムラサキ ■ノミノフスマ ■パイケイソウ ■ハナタネツケバナ ■ハルザキヤマガラシ ■ヒ
メシャクナゲ (木本) ■ヒメタガラシ ■フデリンドウ ■ホロムイツツジ (木本) ■マイヅルソウ ■マムシグサ ■ミズ
ナラ (木本) ■ミツガシワ ■ミツバウツギ (木本) ■ミツバツチグリ ■ミミナグサ ■ミヤマザクラ (木本) ■ムジナ
スゲ ■ヤチャナギ (木本) ■ヤマグワ (木本) ■ヤラメスゲ ■ユキザサ ■レンブクソウ ■ワタスゲ (花・綿毛)

○温根内探勝木道周辺で観察された鳥 (5月15日～6月14日) ※和名は日本鳥類目録第7版の順

■マガモ ■キジバト ■アオバト (5/30 初認) ■アオサギ ■タンチョウ ■クイナ (5/25 初認) ■ツツドリ ■カッコ
ウ (5/25 初認) ■ハリオアマツバメ ■トビ ■オジロワシ ■ハイタカ ■ノスリ ■アリスイ ■コゲラ ■アカゲラ ■ヤマ
ゲラ ■モズ ■ハシボソガラス ■ハシブトガラス ■ハシブトガラ ■ヒガラ ■シジュウカラ ■ヒバリ ■ショウドウツバ
メ (5/25 初認) ■ヒヨドリ ■ウグイス ■ヤブサメ ■エナガ ■エゾムシクイ ■センダイムシクイ ■マキノセンニュウ
(6/10 初認) ■シマセンニュウ (5/31 初認) ■エゾセンニュウ (6/13 初認) ■コヨシキリ (5/30 初認) ■ゴジュ
ウカラ ■キバシリ ■アカハラ ■ノゴマ (5/23 初認) ■コルリ (5/21 初認) ■ノビタキ ■コサメビタキ (5/25 初
認) ■キビタキ (5/22 初認) ■オオルリ ■ニューナイスズメ ■ピンズイ ■カワラヒワ ■ベニマシコ ■アオジ ■クロ
ジ (5/18 初認) ■オオジュリン

※旬の自然情報についてはお気軽にスタッフまでお尋ねください。

※温根内木道周辺に咲いている花を折ったり持ち帰ったりしないようお願いいたします。また、木道から降りて写真を撮ることはおやめください。皆様が気持ちよく散策・観察できるようご理解とご協力をお願いいたします。

☆☆☆☆☆自然ふれあい行事が開催されました☆☆☆☆☆



○湿原の夏鳥ウォッチング 5月26日(日) 開催 参加者：18名

タンチョウコミュニティ代表の音成氏を講師に、夏鳥ウォッチングが開催されました。野鳥の名前の意味や生態、住んでいる環境の話などを聞きながら、声だけでなかなか姿が見えないウグイスやコルリ、赤い姿が美しいベニマシコ、湿原で営巣する夏鳥のノビタキやオオジュリンなど18種類を確認しました。



○春の湿原花ハイク 6月8日(日) 開催 参加者：11名

植物の専門家である高嶋氏を講師に、いよいよ花のシーズンを迎えた温根内で観察会が開催されました。見ごろを迎えているミツガシワの子孫を遺す為の戦略や、とても珍しいハナタネツケバナの話、目立たないスゲの花の話や植物の分類の話、外来生物問題の話など、高嶋氏らしい少しアカデミックで楽しい話をたくさん聞くことができました。

☆☆☆☆☆イベントのご案内(7月) 事前の申し込みが必要です☆☆☆☆☆

○温根内ビジターセンター ⇒お申込み ☎ 0154-65-2323

※ホテルウィーク(ホテルW)と無料ガイドウォーク(無料GW)は申し込み不要です。

日	月	火	水	木	金	土
		1 休館日	2	3	4	5 無料GW
6 初夏の湿原 花ハイク	7	8 休館日	9	10	11	12 無料GW
13 無料GW	14	15 休館日	16	17	18	19 PV 定点解説
20 無料GW	21 無料GW	22 臨時開館	23 ホテルW	24 ホテルW	27 ホテルW	28 ホテルW 無料GW
29 ホテルW 無料GW	30	31 臨時開館				

- ・初夏の湿原花ハイク：10：00～12：00(定員15名) ・ホテルW：19：00～20：30(定員無し、申込不要)
- ・無料GW：10時～、14時～(1日2回開催、定員10名、申込不要、定員になり次第締め切り)
- ・PV 定点解説：釧路湿原パークボランティアが木道の数か所で定点解説を行います。

○塘路湖エコミュージアムセンター(あるこっと) ⇒お申し込み ☎ 015-487-3003

♪粘土で土器を作ろう

〔日時〕6月7日(土) 10：00～14：00 〔定員〕15名(小学生は保護者同伴)

〔参加費〕300円(材料費)

〔場所〕塘路湖エコミュージアムセンター

タヌキモの捕虫囊(ほちゅうのう)



←横から
正面から↓



花の見ごろは
6月下旬から。

×20

.....
月刊 温根内通信 No.213

発行：釧路湿原国立公園 温根内ビジターセンター

〒085-0036 北海道阿寒郡鶴居村字温根内

Tel：0154-65-2323 Fax：0154-65-2185

E-mail：ovc@hokkai.or.jp

ホームページ：http://city.hokkai.or.jp/~kkr946/

Facebook：https://www.facebook.com/Onnenai.VC

開館時間：10：00～17：00(11月～3月は16：00まで)

休館日：毎週火曜日(12/29～1/3は休館) 入館無料
.....